

山国川の現状と課題

中上流域は堤防未整備、管理施設は老朽化し維持管理が必要



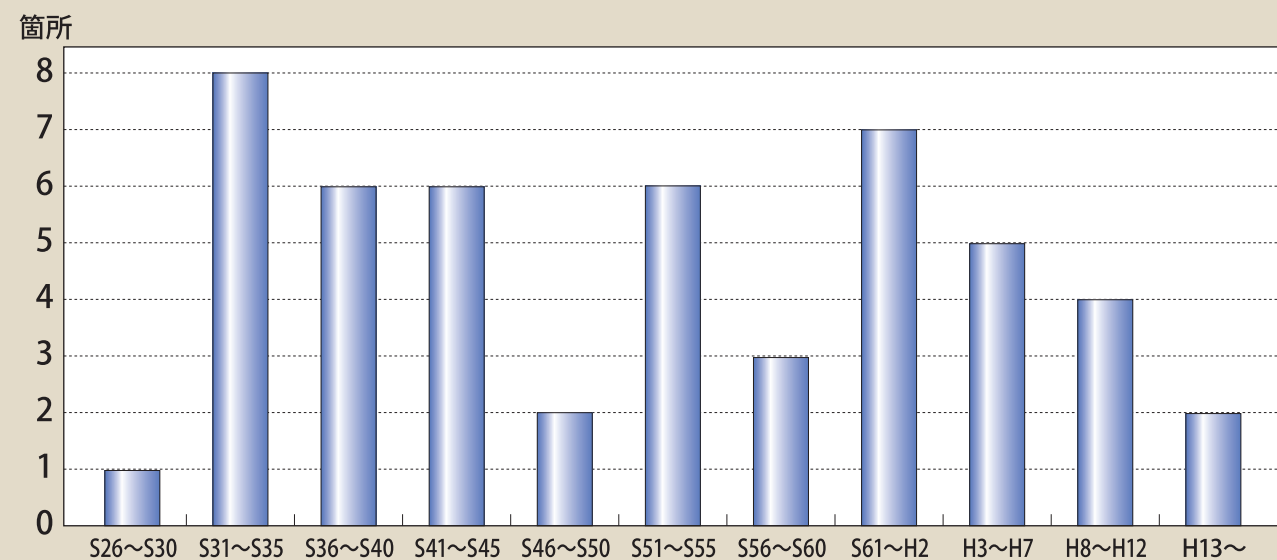
- 平成20年3月末時点で、約77%の堤防が完成していますが、中上流の区間では、堤防未整備区間が多く残っています。また、固定堰により河川水位が上昇する箇所も見られます。
- 内水（河川に排水できずにはん濫した水）被害の対策としては、下宮永地区において排水ポンプ場を設置していますが、今後も内水被害の軽減に努める必要があります。
- 東南海・南海地震などによる被害を防止するための対策が急務となっています。
- 河岸や河道内の土砂堆積、樹木繁茂箇所については流水の障害、河道内監視の妨げとなる恐れがあります。



河道内の樹木繁茂状況

老朽化している河川管理施設が多いため、施設が正常な機能を発揮するよう維持管理を行っていく必要があります。

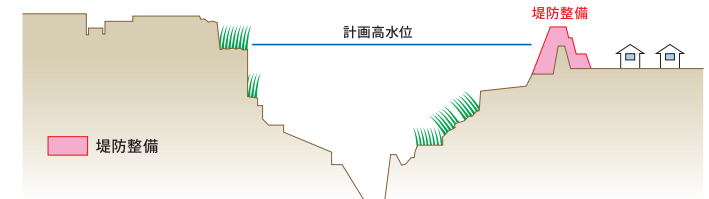
河川管理施設（樋門・樋管）の年代別設置数



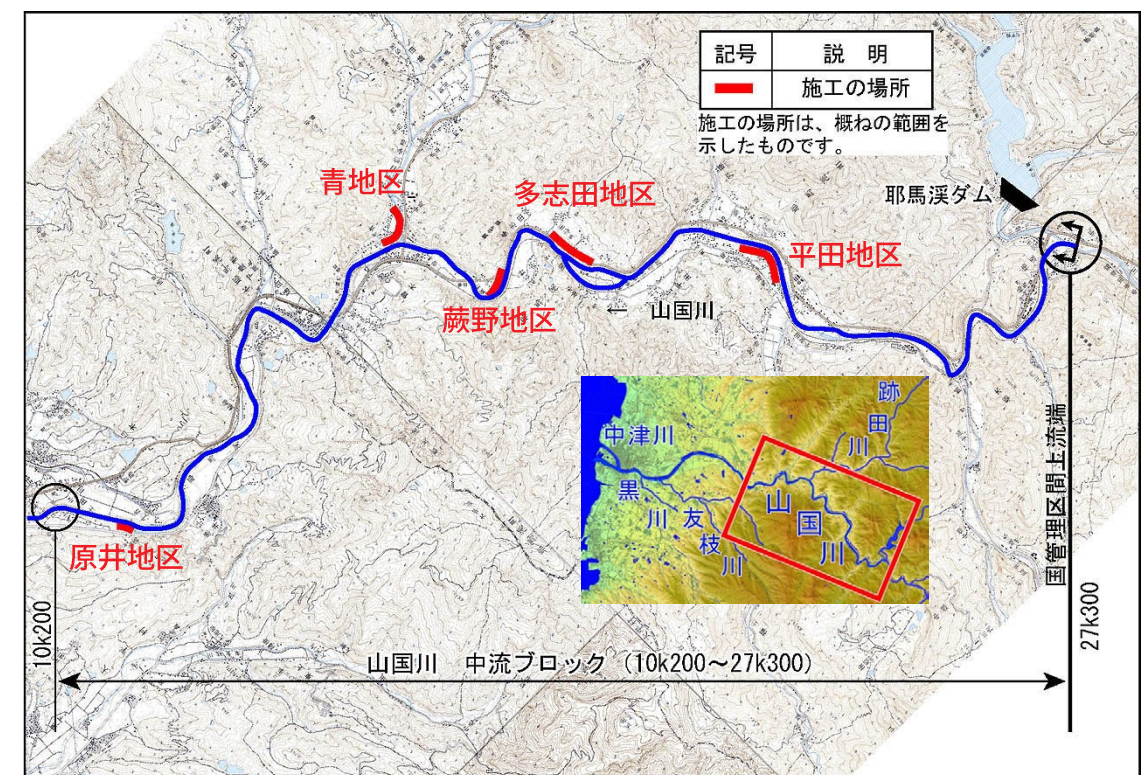
生命・財産を守るため河川を整備します

洪水対策として中流部の堤防整備等を段階的に実施します

中津市青地区等において、堤防が未整備あるいは堤防高が不足することにより整備目標流量の洪水を安全に流下させることができない箇所について、堤防等の整備を段階的に実施します。また、河川内に設置されている施設の管理者と連携し、流下能力を向上させる整備を行います。



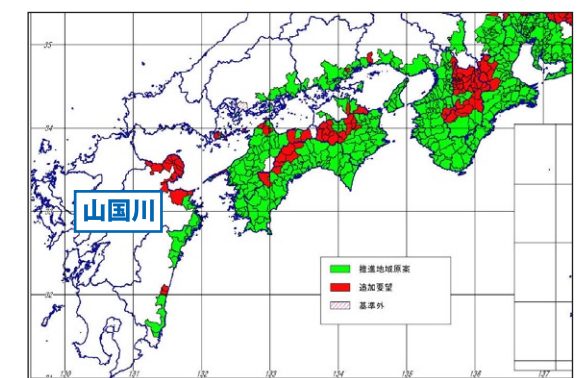
堤防等の整備箇所位置図



地震・津波の調査・検討を行い、必要な場合には対策を実施します

地震・津波に対しては、川を遡上した津波が堤防の居住地側に流入することのないよう、調査検討を行い、必要な場合には対策を行います。また、津波対策として、水門等のフラップ化等の対策を、必要に応じて実施します。

東南海・南海地震防災対策推進地域



地域との連携のもと内水対策に努めます

今後の土地利用状況・内水被害状況をふまえ、地域との連携のもと、被害の軽減を図るべく内水対策に努めます。

生命・財産を守る川づくりを維持します

巡視、点検、計画的な補修により、河川管理施設の機能を維持します

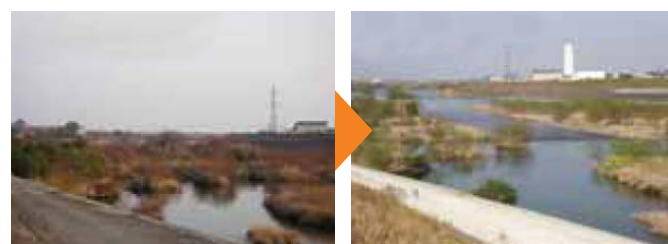
堤防、護岸、耶馬溪ダム、平成大堰、下宮永排水機場、樋門等の施設については、洪水、高潮、地震・津波に対して所要の機能が発揮されるよう、平常時から巡視・点検等を行い適正な管理に努めるとともに、計画的に補修を行い、各施設の機能を正常な状態に維持します。



洪水の疎通能力に支障がある場合は土砂の除去や樹木の伐採を実施します

洪水の疎通能力に大きな影響を及ぼすような土砂の堆積や堰直下流の砂堆積など、河川や河川管理施設に支障が生じる恐れがある場合には、植生、鳥類、魚類等の自然環境に配慮しながら、適切な河道の維持に努めます。また、定期的縦横断測量及び出水後等に縦横断測量を実施して河道の経年的な変化を把握し、適切な河道の状態の維持に努めます。

■河道内樹木管理（平成大堰下流）



樹木伐採前

樹木伐採後

地域と一体となって防災・減災を目指します

洪水予報及び水防警報を迅速に発表します

山国川は、平成9年3月に洪水予報河川^{※1}に指定されています。洪水により被害の恐れがあると予想される場合は、水位等の情報を示して、大分地方気象台と共同で山国川はん濫注意情報または山国川はん濫警戒情報等^{※2}を発表します。また、円滑な水防活動の支援、災害の未然防止を図るために、水防警報^{※3}を迅速に発令し、県・市町を通じ水防活動を行う必要がある旨を、水防団等へ知らせます。

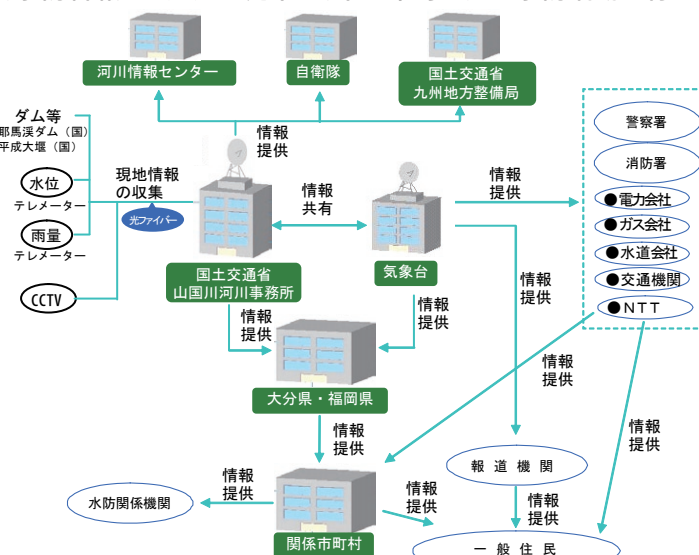
※1：洪水予報河川とは、二以上の県の区域にわたる河川その他の流域面積が大きい河川で、洪水により国民経済上重大な損害を生ずる恐れのあるものとして指定した河川です。

※2：洪水の状況に応じて、国土交通省（河川管理者）と気象台が共同で山国川はん濫注意情報、山国川はん濫警戒情報、山国川はん濫危険情報、山国川はん濫発生情報を発表します。

※3：水防警報とは、水防管理団体（市町村）の水防活動に対して、待機・準備・出動などの指針を与えることを目的として発令するもので、関係機関に知らせる情報です。

河川情報システムを整備します

インターネットや、携帯電話を活用し、水位や雨量、河川管理施設の操作情報、監視カメラの画像情報など、わかりやすい情報の提供に努めていきます。



耶馬溪ダム、平成大堰の機能を維持します

耶馬溪ダム、平成大堰の操作は、山国川河川事務所や耶馬溪ダムにあるそれぞれの操作室で行っています。

これらのダム、堰においては、平常時や洪水時、または渇水時に必要となる操作について、操作規則に基づき迅速かつ的確に操作します。そのため、定期的に訓練するとともに、自治体等の関係機関へ耶馬溪ダム、平成大堰の役割や操作方法について周知するための説明会を実施します。



耶馬溪ダム



平成大堰

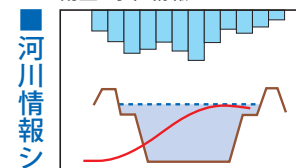


山国川河川事務所内操作室

関係機関や地域住民へ河川情報を提供します

洪水はん濫などにより流域の人々の生命・財産に被害が生じる恐れのある場合には、市町村長の避難勧告または指示、及び地域住民の避難活動等が適切かつ迅速にできるように関係機関や地域住民へ河川情報の提供を行います。また、洪水ハザードマップを活用し、危機管理の観点から普段のまちづくりを地域住民と協働で考え、安全で暮らしやすいまちづくりの検討を行います。

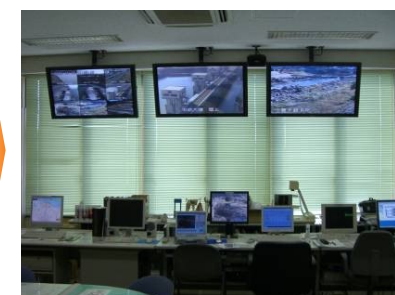
雨量・水位情報



監視カメラの画像情報



情報収集



インターネットや携帯電話により洪水時の河川情報を提供し、洪水被害の軽減に努めます。

川の防災情報
(インターネット)

<http://www.river.go.jp/>

川の防災情報
(携帯電話)

<http://i.river.go.jp/>